

令和5年12月11日  
(2023年)

保護者の皆様

吹田市立青山台小学校  
校長 熊野 厚博

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和5年度 全国学力・学習状況調査」を実施し、8月下旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象としており、教科も国語・算数に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として、課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### (1) 国語《概要》

◎国語【主として『知識及び技能』に関する問題】

平均正答率は全国値を上回っている。無解答率は低い。

◎国語【主として『思考力・判断力・表現力』に関する問題】

平均正答率は全国値を上回っているが、書くこと分野に課題がある。

《各領域における成果と課題》成果○ 課題△

#### 話すこと・聞くこと

○全国の平均正答率を上回っている。

△「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」ことに課題がある。

#### 書くこと

△全国の平均正答率を下回っている。

△「図表やグラフなどから、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことに課題がある。

#### 読むこと

△全国の平均正答率をやや下回っている。

△「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」ことに課題がある。

#### 言葉の特徴や使い方に関する事項

○全国の平均正答率をやや上回っている。

△「日常で使われる敬語の理解」に課題がある。

《国語科における今後の指導改善点》

◇国語科に留まらず、自分の考えや感想をその根拠を明確にしながら条件に合うように書く学習を多く取り入れる。

◇接続詞、敬語、ことわざなど、文章を作るために必要な語彙の習得の指導を確実にを行い、新聞づくり等でも事実を述べるだけでなく、そのことを通して何を学び、どう考えたのか、までが書けるように指導をしていく。

◇書くことの発達段階に応じた指導を徹底する。授業の中で、低学年は事実や体験を、中学年はそれに加え、自分がどう思考えたかなどを文章に記述させるようにする。高学年においては字数を指定した文章作りの設定などを計画的に行っていく。

### (2) 算数《概要》

◎算数【主として『知識・技能』に関する問題】

平均正答率は全国値を上回っている。無解答率は低い。

◎算数【主として『思考・判断・表現』に関する問題】

平均正答率は全国値を上回っている。無解答率は低い。

《各領域における成果と課題》成果○課題△

#### 数と計算

○全国の平均正答率を上回っている。

△「示された場面を解釈し小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を記述し、結果から条件に当てはまるかどうかを判断する」ことに課題がある。

#### 図形

○全国の平均正答率を上回っている。

△「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる」ことに課題がある。

#### 変化と関係

○全国の平均正答率を上回っている。

△「百分率であらわされた割合について理解する」ことに課題がある。

#### データの活用

○全国の平均正答率を上回っている。

△「以上の意味を理解し、示された数から必要な数を読み取る」ことに課題がある。

《算数科における今後の指導改善点》

◇基礎的な計算は概ねできているが、初歩的な位のミスや計算ミスが見られるため、授業や宿題で引き続き練習していく。

◇自分の考えを図や言葉、式に表す力が弱く、そのまま無解答にする児童も多いため、普段の授業から自分の考えを図や言葉で少しでも記述できるように指導していく。

◇児童に求め方を説明させたり、他の児童の考えを代わりに説明させたりする中で、設問に求められる条件を見つける機会を授業中に設けていく。

## 2 児童質問紙の結果 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

(1) [家庭生活のこと] プラス面○マイナス面△

- 「自分にはいいところがある」と答えた割合は、全国値を上回っている。
- 「将来の夢や目標」は、肯定的回答が全国値を上回っている。
- 「朝食」を食べ、毎日同じ時刻に起床できている。
- 「週末には学習塾など学校や家以外の場所で勉強している」と答えた割合が全国値を上回っている。
- 「自分で計画的に学習している」と答えた割合は、全国値を上回っている。
- 「平日授業以外で、1日あたりにPCやタブレットなどのICT機器を1時間以上勉強のために使っている児童は、全国値を上回っている。
- 「普段1日あたりの読書時間が1時間以上」と答えた割合が全国値を上回っている。
- 「外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知りたいと思う」と答えた割合が全国値を上回っている。
- 「地域の行事に参加している」と答えた割合は全国値を上回っている。
- △「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたい」と答えた割合は全国値を下回っている。

(2) [学校生活のこと] プラス面○マイナス面△

- 「国語の勉強が好き」と答えた割合は、全国値を上回っている。さらに国語に関する設問はすべて肯定的回答が全国平均を上回っている。
- 「学習した内容についてわかった点やわからなかった点を見直し、次の学習に繋げている」の問いでは肯定的回答が、全国値より上回っている。
- 「読書が好き」と答えた割合は全国値より上回っている。
- 「算数の勉強が好き」と答えた割合は、全国値を上回っている。
- 「英語の勉強が好き」と答えた割合は、全国値を上回っている。
- 「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか」という問いに対して肯定的な回答をしている児童は、全国値を上回っている。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広めたりすることができていますか」という肯定的な回答が、全国値を上回っている。
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに対して全員が肯定的な回答をしている。
- △「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という問いに対して肯定的な回答をしている児童は全国値をやや下回っている。

## 3 課題及び今後の取り組み

- ◇本校の児童は、国語・算数については、全国平均と比べおおむね満足できる学力ではあるが、算数の学習が好きではないという児童が一定数存在する。今後も、授業改善を進め、児童の学習意欲を大切にしながら、各教科の基礎学力の定着を目指す。
- ◇生活面においては、様々な教育活動を通して、児童それぞれの良さが発揮できるような役割や場を設けることにより、責任感を育み、自己肯定感・自己有用感を高めていく。
- ◇「自尊感情」が高い児童や「将来の夢や目標」を持つ児童が多いことがわかる。これらは、学校生活を送るうえで何かをやろうという意欲の源であり、まわりの人を受け入れて良好な人間関係を築くために必要なものである。今後も学校生活において挑戦する喜びや達成感を持たせる場面を増やしていく。
- ◇ICTの学習活動における利活用は全国値を上回っている。今後はデジタルシティズンシップ教育の考え方で、学校と家庭で連携し、正しい情報機器の使い方を児童に教えていく必要がある。
- ◇「話し合い活動」についての設問に関しては肯定的な回答をする児童が全国値を上回っている。学校生活での集団活動を今後も大切にし、児童の社会性の育成に努めていく。
- ◇外国の人とコミュニケーションを取る、外国のことについて知ろうとする意識は全国値を上回っている。他校にはない本校の地域の特徴として外国籍の児童数も多く、国際理解教育を行う環境が整っている。学習指導や学級活動の場面で、取り組んでいく。

## 4 家庭へのお願い

- ◇朝食を毎日とることは習慣になっているが、「就寝・起床時刻が一定ではない」児童も少数います。生活習慣が乱れることにより、心身の不調を訴える児童が生じることも予想されます。児童の自立的な生活習慣の確立に向けて、ご家庭のご協力をお願いいたします。
- 今後とも本校教育活動の推進、ならびに、児童の成長促進に、保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくをお願いいたします。